



城陽おひさまプロジェクト news

第55号 2023年5月11日 NPO法人市民共同発電をひろげる城陽の会

0774-55-4190 <http://jyoyonokai.sakura.ne.jp>

第11回通常総会を5月27日に開催

会場は鴻の巣会館、記念講演も開催 ぜひご参加を！

今年度の総会を5月27日（土）に開催します。新型コロナウイルス（COVID-19）の流行は下火となり、8日にはインフルエンザと同じ5類となりました。しかし、ウイルスが消えたわけではなく、まだ気を付けなければなりません、私たちの活動も日常を取り戻していきたくと思っています。

今年は諸般の状況に留意しつつ記念講演の開催など以前の様な形で総会を開催します。昨年度は3回目のLED無料交換会を実施、目標を達成しました。また、12基目となるパネルの設置も出来ました。今後の取り組みなどを論議していきたいと思えます。

みなさんのご参加をお待ちしております。開催日程等は次の通りです。

日時 5月27日（土）午後2時～4時

場所 鴻の巣会館 第2会議室

記念講演 「京都0円ソーラーってなに？」

講師 井上 和彦 さん（京都市環境保全活動推進協会 企画広報室室長）

災害時の停電や電気代の高騰に備えてのパネル設置、0円システムのもう一つの形を説明して頂きます。0円ソーラーを進めている京都市環境保全活動推進協会の方のお話です。お子さんやお孫さんにもお伝えください。



鴻巣会館

・城陽市寺田水度坂 130 ☎0774-52-0826

（昨年度と同じ会場です）

J R 城陽駅から徒歩 5 分

近鉄寺田駅から徒歩 11 分

議題 2022 (r04) 年度の主な活動及び決算
2023 (r05) 年度の活動及び予算
役員改選
その他

- * 総会の詳しい内容は同封しています議案書をご覧ください。
- * 正会員の方には委任状を同封しております。どうしてもご参加いただけない場合は委任状での参加をお願いいたします。
- * 新型コロナ感染の状況によりましては日程や会場の変更が生じる場合があります。その折にはホームページ等でお知らせいたします。

市民共同発電所 1 2号機目

京都農民会館 3月27日に竣工式 パネルと蓄電池を設置

地球温暖化の影響による気候変動ストップの願いは農家も同じ、伏見区深草の京都農民会館は新築移転に際して温室効果ガスを排出しない太陽光による発電設備（13.12kW）と蓄電池（11.2kW）を設置されることになりました。3月27日に完成を祝う竣工式が行われ、パネルと蓄電池・モニターなども紹介されました。

農民会館の運営をされている（一般社団法人）京都農民会館様は私たちの運動に協賛され、発電設備及び蓄電設備の設置を、私たちの会と協力して行うこととなりました。本会としては12号機目の発電設備、蓄電の設置は初めての取り組みとなります。

設置場所

京都市伏見区深草西浦町5丁目21番地。京阪藤森駅に近い現在の農民会館の西隣に建設された新農民会館屋上他。

設置されたパネルなど

太陽光発電設備（パナソニック）13.12kWは屋上に、蓄電池（パナソニック）11.2kW×2は3階に置かれています。モニターは1階の事務所横廊下であり常に発電量などが見える場所に設置されています。

多くの方のご協力で完成しました。ありがとうございました。今後、会館の電力をまかなうだけでなく万が一の際の地域の方のエネルギー供給の拠点となってくれることが期待されています。



屋上のパネル群
言葉がありました。

市民発電・城陽の会として、京都農民会館様の屋上に設置されました太陽光パネル＝ソーラーパネルは平均的な家庭3軒分の電力を作り出す能力を持っていること、そして7216kgのCO₂が削減されることを述べ、私たちがお手伝いさせて頂いた市民共同発電所としては12番目、12機の合計の発電能力は66.49kWとなります。また、11.2kWの蓄電池も設置されることとなりました。こちらの方は初めての設置、記念すべき第1番目となります。



3階に設置された蓄電池

竣工式でのメッセージ

27日の竣工式は新型コロナがおさまりつつあるとはいえ、大事をとって少人数となりました。戸本理事長は新会館が3代目になる事や「作物をつくってこそ農民」との力強いあいさつをされました。その中で市民発電・城陽の会の協力を得たことにも触れられ、期待しているとの

農民会館への太陽光パネルの設置を市民共同でのお誘いを昨年6月に久守様から受けまして、その後、戸本様はじめ農民会館理事の方々と私どもの古家野事務局長などと何度も話し合い、打合せを繰り返し今日の日を迎えることができた。福島の人達に寄り添い、温室効果ガスゼロをめざす積極的な取り組みの一つとしてパネルの設置をともに喜びあいたい、とメッセージを送りました。

見学会を予定しています。

**農民会館の太陽光発電設備と蓄電池などの見学会を予定しています。
時期は会館の方と希望者で調整したいと思います。（平日の予定）
希望される方は、事務局または役員までお知らせ下さい。**

省エネ実践、第3回

LED電球の無料交換会、東コミで2月26日 137個の白熱球などとLED球109個を交換

2月26日（日）、東部コミュニティセンターを会場に第3回白熱電球とLED電球無料交換会を開催。交換会は、キャンセル待ち当日受付の方を合わせて目標としていた100名を超えてしまいましたので、予備のLED電球も使い110名・109個（1名は交換せず）を白熱電球等と交換できました。白熱電球は104個、蛍光灯は33個あわせて137個を回収、昨年の青谷コミセン、一昨年の文化パークでの交換会合わせて268個の白熱電球等と184個のLED電球と交換をしています。

3年間で削減できるCO₂は16.5t

今回と合わせて405個（白熱電球等）を293個のLED電球と交換したことになります。節電される電力量は35300kwh、削減できるCO₂は16.5t（いずれも推定値・年）となります。

今年は昨年の経験を踏まえ事前受付制としました。今回の事前申込にあたってはチラシに申込用紙を刷り込み、切り取ればそのままはがきに貼って申し込みが出来るように工夫を行い、会場所在地で



受付のコーナー

にある寺田東部地域の世帯にシルバー人材センターを通じて配布を依頼しました。このハガキによる申し込みが40通ありました。広報による申し込みは48通あり、この二つの媒体での申込が約75%となっています。

会場の広さを生かして5グループから4グループにして交換時間の短縮をはかりました。交換前にはLED電球や地球温暖化対策などの説明を「ミニ講演」として実施、省エネや再エネについて学習をして頂きました。15分程度の短い説明ですが、うなずいておられる方や質問に来られる方がおられるなど熱心に聞いて頂けたように思います。わずかではありますが省エネ（ネガワット）や再エネの理解が進んだのではないかと感じています。

交換前にはLED電球や地球温暖化対策などの説明を「ミニ講演」として実施、省エネや再エネについて学習をして頂きました。15分程度の短い説明ですが、うなずいておられる方や質問に来られる方がおられるなど熱心に聞いて頂けたように思います。わずかではありますが省エネ（ネガワット）や再エネの理解が進んだのではないかと感じています。

白熱球などを60W・40Wで26口金のLED電球と交換

交換会実施にあたっては①白熱電球及び電球型蛍光灯（以下「白熱電球等」と言う）を1個以上持参した人一人に付、40w又は60w相当のLED電球1個と無料で交換する。②白熱電球等は使用中の物でも切れているものでも交換するものとする。③LED電球は26口金のものとする。④持参された白熱電球等の返還および交換したLED電球の再交換には応じない。⑤交換したLED電球に不具合が発見された場合は、交換を受けたものが製造者等との対応をするものとする、など基本的にはこれまでの要領で行っています。



交換コーナー

おさまって来たとは言うものの新型コロナ感染対策として三密を避け、検温・消毒の徹底・マスク着用の呼びかけなどを行いました。もちろんスタッフは全員マスクを着用、随時手指等の消毒を行い参加の方々の対応を行いました。

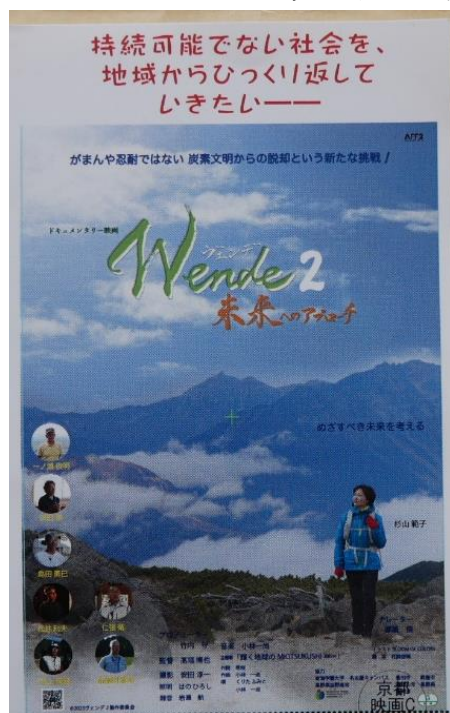
また、てくのハウスMAKINO城陽店・星和電機(株)・市民活動支援センター・ぱれっとJOYO・エーシック省エネ館にチラシを置く等のご協力をいただきました。

今回も市の後援を頂き、会場確保や広報「じょうよう」紙上で市民に知らせて頂いたことは市民に大きく広げる力となりました。また、今回の交換会ではボランティアの方々のご協力をえて運営を円滑に進めることができました。ご協力に感謝します。

ドキュメンタリー映画「Wende (ヴェンデ) 2 未来へのアプローチ」

会員さんからの呼び掛けで、ドキュメンタリー映画「ヴェンデ2 未来へのアプローチ」を有志の方々が鑑賞しました。会場は近鉄東寺駅近くのみなみ会館。

「ヴェンデ」とはドイツ語で「転換」の意味だそう。化石燃料から自然エネルギー(再生可能エネルギー)への転換や生活スタイル転換の意味を込めたものだと説明されています。昨年公開された「Wende 光と水のエネルギー」の続編になる。



あらすじは、

今、温暖化対策の遅れが気象災害の激甚化を招き、地域によって対策は異なりますが、生活スタイルを変えていくことが重要です。これを適応策といいます。それは様々な分野に及び、地域によって異なる対応が求められています。本作は、気候変動への適応策をテーマに、持続可能な社会を考えます。

となっています。鑑賞された方に聞くと、亀岡や福知山の市長が出演されて地球温暖化対策に熱心に取り組んでいる様子が紹介されていることや、2018年に講演していただいた炭素埋設農法「クールベジ」(クールベジタブル 野菜で地球を冷やせ)の取り組みが映像で取り上げられている等、親しみやすい映画だったとの声が寄せられています。

上映時間 95分

監督 高垣 博也

*現在は終了しています



本会のQRコードです。簡単にホームページを閲覧することができます。

NPO 法人市民共同発電をひろげる城陽の会

連絡先 0774-55-4190 e-mail bnkmf858@kcn.jp